

福岡県測量設計コンサルタンツ協会「第53回定時総会」開く
未来を見据えた基盤づくりのため、地域貢献と人材育成に取り組む



令和7年度事業計画を決め、会員の結束を強める

(一社)福岡県測量設計コンサルタンツ協会(福澤一博会長)の「第53回定時総会」は23日、福岡市のANAクラウンプラザホテル福岡で開催した。総会には委任状を含め73社が出席。令和7年度の事業計画を決定したのち、新会員の紹介と会長表彰を実施。終了後の懇親会では、活発な意見交換が行われ親睦を深めた。

総会は、神崎亮副会長((株)西日本測研社)の開会の辞に続いて、あいさつに立った福澤会長((株)スリーエヌ技術コンサルタント)は「福岡県の公共事業予算が昨年並みに確保されたと聞いていますが、人件費や材料費が高騰している現状を鑑みると、昨年並みの予算では各案件にかかる費用が増加し、実施できる事業の数が減少する可能性があります。少なくとも5～10パーセントの公共投資予算の増額を国や福岡県にお願いしたい。また、



あいさつに立つ福澤会長

件数が減少すると受注機会が縮小し、企業の経営に影響が出るのではないかと述べた。また、インフラ整備の重要性について、今年1月に起きた埼玉県八尾市での下水道陥没事故を例に挙げ、インフラ整備、国土強靱化のための予算確保の必要性を訴え、「令和7年度の事業計画については、協会の今後の方向性を定める重要な機会として、会員からの活発な意見をいただきつつ協会の発展を目指したい」と協力を求める形で締めくくった。

議案審議では令和6年度事業報告および収支決算報告、監査報告を審議し原案通り可決承認した。令和7年度事業計画及び収支予算について承認。新年度の事業計画では重点施策として▽測量設計コンサルタント業務の協会員への優先発注についての要望の推進▽将来の担い手確保並びに雇用促進に向けた広報活動の取組み▽人材確保・技術向上に向けた研修会の実施と技術者の育成▽新規会員開拓による基盤強化と組織体制の拡充▽入札制度及び業際問題に対する提言及び対応▽公共発注における用地測量の担い手拡充に関する取組み▽災害復旧支援協定に対応する取り組み▽受発注者の相互理解の深化と働き方価格の推進に向けた取組みなどを掲げている。

この後、新会員となったダン技術設計（株）の小玉純士代表取締役の紹介があり、続けて勤続10年以上の勤務成績が優秀な模範社員8名に対して表彰状と記念品の贈呈が行われた。受賞者を代表して大成ジオテック（株）の高口孝浩氏は、36年間の勤続期間中の道路・河川業務や災害支援業務の経験を振り返りながら、会社や先輩方への感謝を述べるとともに「今後は経験を後輩に伝承し、社会資本整備の推進と地域発展に貢献したい」とあいさつした。総会後は懇親会が和やかに行われた。



受賞者代表のあいさつをする高口氏

感謝状受賞者は次の通り（氏名は敬称略）

坂田洋一（アジアエンジニアリング（株））、西岡敬祐（アジアエンジニアリング（株））、藤谷正信（アジアエンジニアリング（株））、竹翔太郎（第一復建（株））、丸山純（大成ジオテック（株））、高口孝浩（大成ジオテック（株））。欠席：石橋花（第一復建（株））、石田一真（（株）大正）



模範社員に選ばれた受賞者の方々